

第 1 3 3 8 回 京都市教育委員会会議 会議概要

1 日 時 平成 2 7 年 7 月 3 0 日 木曜日

開会 9 時 3 0 分 閉会 1 2 時 0 0 分

2 場 所 京都市役所内 教育委員室

3 出席者	教 育 長	在田 正秀
	委 員	奥野 史子
	委 員	秋道 智彌
	委 員	鈴木 晶子
	委 員	星川 茂一
	委 員	高乗 秀明

4 欠 席 者 なし

5 傍 聴 者 1 2 人

6 議事の概要

(1) 開会

9 時 3 0 分，教育長が開会を宣告。

(2) 前会会議録の承認

第 1 3 3 7 回京都市教育委員会会議の会議録について，教育長及び全委員の承認が得られた。

(3) 議事の概要

ア 議事

議案 3 件

イ 議決事項

中学校教科書採択について

議第 9 号 平成 28 年度から平成 31 年度までの京都市立中学校及び京都市立西京高等学校附属中学校
において使用する教科書の採択について

(事務局説明)

○島本学校指導課長

議案説明に先立ち，まず，教科書採択事務の経過について，簡潔に御説明する。

本日の配付資料は，教科書採択についての議案とともに，議案説明資料，議案説明資料の別紙とし

て、別紙 1 各教科書の主な特徴等、別紙 2・3・4 教科書採択にかかる基本方針、選定の柱、選定の観点、あわせて、別添 1 に教科書選定委員会の答申の写し、別添 2 にこの間の要望書や教科書展示会で頂戴した意見書の写しを配付している。

なお、教科書見本とともに、この間の教育委員会での報告等の際に説明資料として配布している、教科書コピーも改めて席上配布しているので、ご確認いただきたい。

説明は、主に議案説明資料および別紙 1 各教科書の主な特徴等に基づいて行う。では、まず議案説明資料をご覧ください。

「1 教科書採択の経過」について御説明する。各教科の指導主事、学校現場の教員、学識経験者、保護者代表の計 109 名からなる「京都市地区中学校教科書選定委員会」を設置し、5 月 11 日、教育長から教科書選定委員会に教科書選定に関わる諮問を行った。諮問を受け、教科書選定委員会は、全体会を 4 回実施した。

第 1 回では、5 月 7 日の教育委員会で議決いただいた「教科書採択に関わる基本方針」「選定の柱」「選定の観点」の確認、各教科書の点検やスケジュール確認などが行われた。6 月 15 日の第 2 回および 7 月 13 日の第 3 回では、教科ごとの調査研究部会から、調査の進捗状況の報告と審議が行われ、7 月 17 日の第 4 回で答申内容の大枠が決定され、7 月 24 日に教育長に答申をいただいた。別添 1 の資料は、答申の写しになる。

この間、選定委員会においては、学識経験者や保護者代表にも、何度も教科書展示会に足をお運びいただき、会議では多岐にわたるご意見を頂戴した。また、全体会以外にも、諮問から答申までの 3 ヶ月弱の間に、各教科の調査研究部会が延べ 107 回開催され、熱心な審議が行われた。教育委員会においても、この間、選定委員会の経過や協議内容、調査研究の状況、教科書の特徴等について、適宜、報告し、協議いただくとともに、7 月 23 日には答申案の内容をご説明したところである。

続いて、「2 教科書展示会について」であるが、「開かれた教科書採択」を推進するため、法令で定められている教科書センター 2 会場に加え、地域図書館を中心に計 11 会場で展示会を開催したほか、展示期間についても、6 月 5 日から 7 月 8 日まで、法定（6 月 19 日から 14 日間）の約 2 倍の期間を設けた。

結果、閲覧名簿に記載された方だけで 499 名の方に来場いただき、317 件の意見書を頂戴した。意見書以外にも、事務局に対して直接提出・郵送された要望書・ハガキも多数となっている。本日は、改めてそのすべての写しを配付しているので、ご確認いただきたい。以上が経過説明である。

それでは、議案について御説明する。議案に添付している別紙を御覧いただきたい。採択案は一覧のとおりである。あわせて、議案説明資料の別紙 1 各教科書の主な特徴等を添付しているので、ご覧いただきたい。

なお、国語科から順に、各教科の選定理由について御説明するが、説明は教科ごと・分野ごとに区切らせていただく。教科ごとに使用教科書について、審議のうえ採択いただきたい。

はじめに国語科について御説明する。

まず、東京書籍は、全体的にバランスがとれた構成である。巻頭の教材一覧表に学習目標を明示するとともに、家庭学習として使いやすい教材を提示するなど、生徒の主体的な学習活動の展開に多くの工夫がみられることが特徴である。生徒の主体性を重視する構成とした反面、中学生にはやや高度であると感じられる活動例も含まれているが、豊富な挿絵やイラスト等によって、文章理解や指示理解を補っている。

学校図書は、教材に長めの読み物が多く選ばれているのが特徴である。結果的に、3領域1事項の中で「読むこと」の学習が重視される傾向になり、他の2領域1事項とのバランスが偏っている。また、中学生にはやや難易度が高いと思われる作品もある。唯一、年間の学習一覧表が掲載されておらず、学習の見通しを持つ点で不十分である。コラム欄で一部文字が小さく読みづらい箇所もみられる。

三省堂は、読む、書く、様々な思考の技法が整理してまとめられていることが特徴である。「読む」教材はやや少ないが、物語、説明文、韻文をバランスよく取り上げている。古典作品も多彩に取り上げ、巻末には掲載作品の他の章段を掲載するなどの工夫もみられる。ユニバーサルデザインに配慮しているものの、カラーページ内の色付き文字に判別しづらいものがある。

教育出版は、全体を通して、教材数が少ない。その分、言語活動のポイントや多様な課題例、生徒作品例を示すことで、主体的な学習を進められるよう工夫している。古典学習では、韻律（日本語のリズム）に親しむための工夫がみられる。ユニバーサルデザインに配慮しているものの、黒文字と色付き文字の識別が難しいページがある。

光村図書出版は、全体的にバランスがとれた構成であり、教材と「話す・聞く」「書く」活動に関連付けることで、学習の流れがわかりやすく、生徒の意欲や主体性の伸長を図っていることが特徴である。中でも「書く」活動が充実しており、各単元とうまく関連付けられている。古典作品も系統的に配列され、無理なく親しめるよう工夫している。文章中の傍線は色でも線種でも識別できるなど、ユニバーサルデザインにも配慮している。

以上を総合的に勘案した結果、全体構成に優れ、生徒が意欲的・主体的に学べるとともに、古典作品の教材・単元の配列等にも工夫されていることなどから、「光村図書出版」が教科書採択に関わる基本方針、選定の柱、選定の観点及び選定の視点に最も即した教科書であると考えている。

国語科・書写について御説明する。

東京書籍は、豊富な資料と多様な言語活動の展開が特徴である。国語の教科書からの手本の引用も豊富で、限られた書写の授業時間の中で、国語と関連させて柔軟に指導が行えることは利点である。唯一、左利きの生徒への指示も掲載している。ただし、教科書サイズがA B判と大きく、多くの道具を用いる毛筆の授業においては、手本として広げると机からはみ出してしまうことが予想される。

学校図書は、楷書から行書、毛筆から硬筆と段階を踏まえた構成となっている。一方で、国語の教科書からの手本の引用が少なく、また、毛筆と硬筆を分けて授業を展開するよう指示しており、国語との関連が図りにくい。教科書サイズはB 5変型版と大きく、多くの道具を用いる毛筆の授業においては、手本として広げると机からはみ出してしまうことが予想される。

三省堂は、歴史的な古書を多く紹介するなど、高等学校での書道との関連がよく意識されている。ただし、中学校では学習しない草書で書かれた教材も多く、生徒に関心を持たせるという点で不十分である。また、国語の教科書からの手本の引用が少なく、国語と関連させた柔軟な書字指導が難しい。

教育出版は、高等学校での書道を意識した資料を多く用いているのが特徴である。ただし、掲載された芸術作品は、草書で書かれたもの、文字が小さく読みづらいものも多く、生徒の関心を持たせる点で不十分である。国語の教科書からの手本の引用が多く、柔軟な書字指導に適應できるが、やや硬筆練習の分量が多く、バランスを欠いている。また、手本が手書き文字でないため、生徒がイメージを持ちにくく、使いづらい。

光村図書出版は、全体のページ数は少ないものの、必要な学習事項はすべて掲載され、日常的な活用例も多岐にわたる内容がコンパクトにまとめられている。また、毛筆で学習した内容を硬筆で繰り返し練習できるよう工夫され、国語の教科書からの手本の引用も豊富で、中学3年間で50時間程度

という書写の授業時間に即した実用的な教科書といえる。

以上を総合的に勘案した結果、限られた書写の授業時数を踏まえ、国語との関連性を重視していることなどから、「光村図書出版」が教科書採択に関わる基本方針、選定の柱、選定の観点及び選定の視点に最も即した教科書であると考えている。

【秋道委員】各教科書の特徴の中で、「内容が高度である」との記載があるが、難易度に基準はあるのか。

【事務局】明確な基準があるわけではないが、例えば、柳田邦夫の作品のように、古典と現代文との見分けが付きにくいような場合は中学生にとっては高度といえるものである。

【在田教育長】3領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）1事項（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）の中で、どこに重点を置くべきかを学習指導要領では示されているか。

【事務局】重点は示されていない。基本的に、全てを万遍なく身に付けられるよう主体的に取り組むことが必要である。

【在田教育長】光村図書出版は、「書く」ことについて重視されているとあるが、国語科における言語活動とは「書く」ことを想定しているのか。

【事務局】「書く」ことのみを想定しているものではない。「書く」を含め、「聞く」「話す」は能動的な活動の要素が強く、「読む」はじっくり静かに読むという感覚であるが、授業を進めるうえでは、最終的には、討論する活動、判断する活動に結びつけることも多く、それが言語活動となる。

○島本学校指導課長

（社会科）

社会科地理的分野についてである。

東京書籍は、全体的に資料の読み取りの視点に気付かせる工夫が豊富であることが特徴である。また、特設コーナーやコラムで伝統産業や伝統文化等を積極的に取り上げ、その理解を深め、尊重する態度を育成するための工夫が充実している。さらに、学習内容を掘り下げるコラムを各所に配置し、探究意欲を高め、発展的な学習につなげている。

教育出版は、毎時間の学習課題に対する振り返り活動を2段階で設定するなど、基礎的・基本的な知識や技能の習得を図っている。ただし、学習活動で活用すべき資料となる写真の撮影年が書かれていないものが多くあるほか、日本の諸地域の学習において、まとめ活動を通常の7地方区分とは別に3つに大別するなど、授業展開上わかりづらい構成となっている。

帝国書院は、資料集にも匹敵するほど写真や図版を豊富に取り上げ、理解を深めるよう工夫している。振り返り活動を確認と説明の2段階で設定するとともに、学習内容を自分の言葉でまとめ、様々な形式で表現する活動を設けている。また、特設ページ・コーナーによる言語活動や探究学習、発展的な学習につながる工夫も充実している。伝統文化に関する事例が豊富で、京都の伝統的な地場産業から先端産業まで取り上げるなど、記述が充実していることも特徴的である。

日本文教出版は、各地域の自然環境や生活・文化等の写真資料を豊富に取り上げている。また、様々なトピックスを掘り下げる特設ページを設けるなど、概観を捉えてから、地域の特色について考察し理解を深めやすい構成に統一されている。各時間のまとめでは、知識の習得と言語活動の2段階の課

題が設定されている。我が国の伝統と文化に加え、災害・防災について多面的な視点による記述が充実していることも特徴的である。

以上を総合的に勘案した結果、基礎・基本の定着を確認と説明の２段階の課題で設定するとともに、言語活動や地理的技能に関する工夫に優れ、伝統文化等についても充実した記述がなされていることなどから、「帝国書院」が教科書採択に関わる基本方針、選定の柱、選定の観点及び選定の視点に最も即した教科書であると考えている。

次に、社会科地図についてである。

東京書籍は、資料は新しく、学習展開に沿った資料が選定されており、学習の各段階で使いやすい。特に、京都市については、京町屋の見取り図が掲載され、イラストも豊富で、充実している。ただし、日本全国において、北海道から屋久島までが見開きとなり、次ページで九州から南西諸島が表されているため、日本全体の姿が捉えにくく、また、世界の各州の見出しに掲載されている鳥瞰図の表現が単調で鮮明ではないため、地域の地形を捉えにくい。

帝国書院は、拡大図や主題図において、可能な限り縮尺が統一されており、比較考察がしやすい。また、世界地図には随所に同縮尺・同緯度の日本地図が掲載されており、緯度による位置関係が読みとりやすく活用しやすい。さらに、言語活動の充実を図るため、地図や資料を活用するコーナーが随所に設けられていることも特徴的である。世界の各州の見出しに掲載される鳥瞰図は、地域の概観がとらえやすく鮮明で、諸地域の考察に効果的である。

以上を総合的に勘案した結果、見やすさや活用のしやすさにおいて、より優れている上に言語活動の充実にも対応していることなどから、「帝国書院」が教科書採択に関わる基本方針、選定の柱、選定の観点及び選定の視点に最も即した教科書であると考えている。

次に社会科歴史的分野についてである。

東京書籍は、小学校での既習事項との接続や、前の時代の章の終わりと次の時代の章の始めを年表でつなぐなど、歴史の大きな流れやつながりをつかみやすく工夫している。写真や図版が豊富で、文化史にも一定の紙面を割き、伝統文化に関する理解を深めている。また、身近な地域の歴史調査の特設コーナーを設けるなど、我が国と郷土を愛する態度を養うための工夫も優れている。各時間の振り返り活動が１段階の設定であることや、言語活動の展開に向けた工夫など、基礎・基本の習得や思考力・表現力を高めるための工夫等に特筆すべきものはあまり多くみられない。

教育出版は、各時間の振り返り活動が２段階で設定され、基礎・基本の習得を図っている点や、各章ごとに各時代のできごとや動きについて、自分の言葉で御説明する課題など、言語活動の充実を図っている。また、各章の始めの扉に絵画などの資料を掲載するとともに、各時代で写真等を効果的に配置し、その時代への関心を高める工夫もみられるが、歴史を大観させる構成や伝統と文化の尊重、我が国と郷土を愛する態度を養うための工夫等に特筆すべきものはみられない。

清水書院は、各時代を世界史から説き起こし、広い視野で時代を捉えるとともに、人物についてのトピックスなどで歴史への関心を高めている。全体を通してバランスよく構成されているが、本文の記述量がやや少ない。各章の始めの扉に絵画などの資料を掲載し、その時代への関心を高める工夫や指定語句を使用して御説明する課題等も設定されているが、資料が本文のどの部分と関連しているのか表記がないため、生徒の主体的な学習には対応していない。

帝国書院は、各時間の振り返り活動を確認と説明の２段階で設定し、基礎・基本の習得を図るとともに、レポートのまとめ方や発表の仕方を例示し、資料をもとに思考したことを表現する言語活動が充実している。様々な文化財や地域の伝統行事等とともに、文化史は大判の写真等で紹介するなど、

伝統文化についての工夫が優れている。また、地域史に関するコラムや身近な地域の歴史調査の特設コーナーを設けるなど、我が国と郷土を愛する態度を養うための工夫も充実している。発展学習に通じる教材も豊かである。

日本文教出版は、各時間の振り返り活動を確認と活用の２段階で設定し、基礎・基本の習得を図るとともに、時代を大観するため、各時代の特色を考える課題が設定されるなど、言語活動が豊富で最も充実している。文化の発展に取り組んできた先人の姿を紹介するとともに、文化史をわかりやすくまとめており、また、地域を大切にする視点を重視した地域調査の特設コーナーを設けるなど、伝統と文化を理解し、それを尊重する態度や、我が国と郷土を愛する態度を養うための工夫も充実している。時代の転換や歴史を掘り下げて考える特設ページも特徴的で、多くの工夫がみられる教科書である。

自由社は、コラムを随所に設け、歴史への関心を高めるとともに、「豆辞典」等で本文を補完し、基礎・基本の定着を図っている。また、字数制限の作文や意見交換など、言語活動や問題解決的な学習を促す工夫もみられる。全体を通して、規範意識や社会参画、公共の精神の大切さがコラムを中心に紹介されており、道徳教育との関連においては、最も充実している。一方で、資料が本文のどの部分と関連しているのか表記されていないため、生徒の主体的な学習には対応していない。また、各時代で写真や資料等が掲載されているが、関連付けや関心を高めるための工夫が不足している。再生紙の使用やユニバーサルデザインへの配慮がなされていない。

育鵬社は、巻頭に国宝級の文化財の写真を豊富に掲載し、各時代には文化史ページを設定するなど、伝統文化への関心を高め、尊重する態度の育成を図るとともに、地域の伝承に関する学習とあわせて、我が国と郷土を愛する態度を養うための工夫が優れている。また、各章はじめの特設コーナーで、時代を俯瞰して歴史の大きな流れや特色をつかませるなど、我が国の歴史への関心や愛情を深めることを図っている。一方で、各時間の振り返り活動が１段階の設定であることや、資料が本文のどの部分と関連しているのか表記されていないことなど、基礎・基本の習得や思考力・表現力を高めるための工夫等に特筆すべきものがあまり多くみられない。

学び舎は、特に、東アジアとの歴史や交流等を重視した記述が充実している。一方で、学習課題の提示や振り返りの設定がなく、学習を進める上では課題である。言語活動のコーナー設定等もなく、観察や調査等の活動的・体験的な学習課題の設定や工夫も不足しており、発展的な学習への展開も不十分である。また、写真や資料等と本文記述の関連付けや工夫もあまりなされていない。教科書サイズが大きく重いため、持ち帰りに適していない。

以上を総合的に勘案した結果、基礎・基本の定着を確認と活用の２段階の課題で設定するとともに、言語活動の充実にも対応し、また、伝統文化の尊重に関する記述や時代を大観して各時代の特徴を捉える活動にも優れていることなどから、「日本文教出版」が教科書採択に関わる基本方針、選定の柱、選定の観点及び選定の視点に最も即した教科書であると考えている。

社会科公民的分野についてである。

東京書籍は、生徒の主体的な学習を促す課題を随所に設定するほか、民主主義の意義や選挙、裁判員制度など現代社会の諸課題について考察する態度を身につけるための工夫が充実している。また、共生社会に関して多様に取り上げ、現代の文化や異なる文化を理解し、尊重することを促している。全体的にバランスよく構成されているが、各時間の振り返り活動が１段階の設定であることに加え、言語活動の展開に向けた工夫等に特筆すべきものがあまり多くみられない。

教育出版は、各時間の振り返り活動で２段階の作業課題を設定し、基礎・基本の習得を図っている。

特設ページ「言葉で伝えよう」を中心に、「対立と合意」「効率と公正」の概念から、豊富な事例を用いて言語活動の充実を図るとともに、問題解決的な学習、発展的な学習につながる工夫もみられる。ただし、本文中に関連する法令等を参照するページを表記しているが、巻末の法令集には本文の関連ページが表記されておらず、使いにくい面がある。

清水書院は、我が国の伝統と文化への関心を高め、それを尊重するための工夫が充実していることが特徴である。また、問いかけを随所に配置することで、言語活動の充実を図っている。一方で、学習課題は設定されているが、振り返り活動の設定が少なく、学習内容の定着を図る上で不十分であることに加え、巻末の法令集には本文の関連ページが表記されておらず、調べ学習や振り返り学習の際、使いにくい面がある。

帝国書院は、各時間の振り返り活動を確認と説明の２段階で設定し、基礎・基本の習得を図っているほか、諸課題の解決を図るためにロールプレイを設定するなど多彩な言語活動が特徴である。また、探究活動や問題解決的な学習、発展的な学習につなげる工夫も優れている。さらに、民主主義の意義について事例を取り上げて説明し、それ以降の学習に生かせるよう工夫するなど、全体のバランス構成に優れている。

日本文教出版は、各時間の振り返り活動を確認と活用の２段階で設定し、基礎・基本の習得を図っているほか、ブレインストーミングなど多彩な言語活動が工夫されている。また、各編や各章の最後に、習得した知識を活用する課題を設定し、問題解決的な学習につなげている。社会参画や社会貢献に関する記述が豊富で、社会に主体的に参画する意識を高めるとともに、特色ある日本の慣習や伝統文化に関する資料が充実しており、伝統文化の尊重、我が国と郷土を愛する態度を養うための工夫に優れている。また、民主主義の理解を図るための記述等も充実している。

自由社は、巻頭見開きで日本の最先端技術を紹介し、巻末では日本全図を用いて領土・領域を取り上げるなど、我が国と郷土を愛する態度や心情を養うための工夫が優れている。さらに、特設ページで宗教を取り上げ、充実した記述により、世界や日本の宗教の歴史や意義等について考えさせている。ただし、各時間のまとめは設定されているが、生徒自らの振り返り活動に資するまとめとしては不十分である。また、巻末の法令集には本文の関連ページが表記されていないことや、平等に関する問題で障害者問題が取り扱われていないことに加え、ユニバーサルデザインへの配慮もなされていない。育鵬社は、全体を通してバランスよく構成されている。新聞記事を教材に探究意欲を高めるとともに、社会の変化をとらえ、未来社会について自ら考えようとする態度を養うための工夫がみられる。また、伝統文化に関する資料や記述も豊富で、領土に関する記述は最も充実しており、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うための工夫が優れている。探究学習や発展的な学習への展開もみられるが、巻末の法令集が本文のどの部分と関連しているのか表記されておらず、また、その注釈等において、色覚特性上、見づらい箇所がある。

以上を総合的に勘案した結果、基礎・基本の定着を確認と活用の２段階の課題で設定するとともに、言語活動の充実にも対応し、問題解決的な学習や社会参画、民主主義への理解などに最も優れていることなどから、「日本文教出版」が教科書採択に関わる基本方針、選定の柱、選定の観点及び選定の視点に最も即した教科書であると考えている。社会科の説明は以上である。

【秋道委員】地理において、白地図は入試問題でも出題がみられるが、教科書には掲載されているか。

また、日本史と世界史の年表などの資料は、授業でどのように活用されているか。

【事務局】白地図は、各章のまとめの「確かめよう」などで用いられている。その他、教材として

市販の白地図を用いる場合や、ワークシートを用いたプリント学習等において取り組む場合がある。年表については、中学校歴史教科書には必ず掲載されているが、日本の歴史を中心として、世界史も関連させたものが多い。挟み込む位置を、教科書の真ん中や巻末など、振り返りのタイミングに合わせて適切な箇所に設定するよう工夫されている。

【鈴木委員】アクティブラーニングや主体的な学習が注目されている中で、国語科の光村図書においても、「読む」「書く」「話す」活動を一体的に取り組む工夫がなされている点で評価されていた。社会科においては、歴史的事象を、自分の言葉で表現する活動を言語活動として重視しているが、アクティブラーニングや主体的な学習につながる構造を持ちながら、「考えてみよう」などで終わってしまうことが懸念される。自らの思考力がどの程度鍛えられているかを確認するため、日本文教出版はよく工夫されていると思うが、他の出版社における主体的な学習の特徴に違いは見られるか。

また、公民において、身近な例を用いて、生徒に対してのわかりやすさを重視するあまり、課題に対する思考の段階が踏めていない教科書もあるように思うが、各出版社の工夫についてはいかがか。

【事務局】日本文教出版は、各時間での２段階の振り返りの設定とは別に、特設の言語活動コーナーを各所に設け「読みとろう」「考えよう」「伝えよう」と３段階による活動が特徴的である。他社にも一定の工夫は見られるが、特に日本文教出版がよく工夫されている。

思考の段階について、例えば、選挙における比例代表並立制など、生徒が理解しにくい内容に対して、主体的な学習につながる手法でわかりやすく例示する工夫などがみられる。自由研究や総合的な学習の時間など、社会科に限らず教科の枠を超えた学校全体の学びを提示していく必要がある。

【星川委員】社会科各分野で共通して基礎・基本を重視する中で、まとめと振り返りを２段階で設定している出版教科書が評価が高い傾向にあるが、実際に授業においてはどのように取り組まれているのか。

【事務局】授業では、ワークシートを活用して、生徒に授業評価をさせる機会があるが、２段階目の「話し合おう」や、「伝えよう」が設定されることにより、ワークシートの自己評価とつなげた展開が可能である。基礎基本を振り返り、まとめで確実に身につけて、次の時間に生かすことが大切である。基礎基本の定着には、自分で考え活用することが重要であることから重視しているものである。

○島本学校指導課長

数学科についてである。

東京書籍は、全体を通して、数学的な思考力や表現力を育成するための学習活動が展開しやすいよう、「問いかけ」とその手がかりとなる図、表、吹き出し等を適切に配置するなど、バランスのとれた構成となっている。数量や図形等の新たな性質を見出す活動や、生活や身の回りのことに数学を生かす活動等は適量であるが、事象を数理的に考察し表現する能力を育成するための話し合い活動を促す設定が多くない。

大日本図書は、学習課題を明示し、見開き２ページ単位で学習項目を構成するよう統一されており、各時間の学習の見通しが持ちやすいよう配慮されていることが特徴である。学習内容を深めるための話題も豊富で、数学的な思考を表現させる活動や問題解決的な学習の展開につながる工夫もみられる。

ただし、数量や図形等の新たな性質を見出す活動等の数学的活動を促すための明示がなされていない箇所がある。

学校図書は、各領域で、小学校で学んだ内容や前の学年までの学習内容を「ふりかえり」にまとめることで、学習内容の系統性・発展性に配慮されていることが特徴である。また、本文中には適宜吹き出しで、思考を促すための発問や投げかけを豊富に設定している。ただし、数学的活動の楽しさやよさを実感できる問題が少ない。

教育出版は、各章ごとの導入「基本の確かめ」とまとめ「章末問題」の間に、「学習のまとめ」を配置し、付きたい力を明確に意識して学習に取り組めるよう配慮することで、主体的な学習を促している。また、数学的に表現・説明させる活動も設定されているが、それらの活動への意欲を促し、助けとなる工夫が不足している。

新興出版社啓林館は、全体を通して、学習内容に関連する数学的な見方・考え方について、「看板」マークを付して注目させ、意識付けることで、数学的な思考力・判断力・表現力の育成を図っており、特筆すべき工夫である。また、問いかけが豊富で毎回の学習において、問題解決的な学習を主体的に取り組むための工夫も優れている。

数研出版は、段階的な問題演習を通して、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、発展的な問題演習を通して、思考の深まりを促すという構成が統一されている。身のまわりの数学の楽しさや奥深さの気づきを促す工夫や、問題演習の難易度・量は適切であるが、言語活動への展開が不十分である。

日本文教出版は、数量や図形等の新たな性質を見出す活動や、生活や身の回りのことに数学を生かす活動等の数学的な活動の充実を目指した構成となっている。「Q」や問いかけの中に、言語活動を促す仕組みが工夫されており、また、「深める数学」や「生活への利用」としたページを設定し、発展的な内容への展開や生活とのつながりを図っているが、数学が社会に役立つような視点での紹介が少なく、生徒の学ぶ意欲を高めるための工夫が不足している。

以上を総合的に勘案した結果、数学的な思考力・判断力・表現力の育成のための工夫が充実し、問題解決的な学習の展開の工夫に優れていることなどから、「新興出版社啓林館」が教科書採択に関わる基本方針、選定の柱、選定の観点及び選定の視点に最も即した教科書であると考えている。

【秋道委員】小学校から中学校へつなぐ（小中一貫の）観点では、調査部会においてどのような議論が交わされたか。また、学習内容の難易度についてはいかがか。

【事務局】各社とも、1年生では算数の学習内容について触れている。他にもアプローチの方法は異なるが、振り返りなどで小中のつながりが意識されている。難易度の高い内容については、高校とのつながりを意識して、発展的な内容として扱われていることが多い。

【高乗委員】啓林館のみ本冊と別冊の構成としているが、別冊の授業での使い方や、期待する効果はどのようなものか。

【事務局】別冊は各章の振り返り学習や発展的な学習のために、章ごとに約4ページずつ設けられており、別冊のみを授業で取り扱うのではなく、新たな学習に向けた主体的な学習や既習事項の活用など、自学自習に資することを期待している。

【鈴木委員】数学には、17世紀頃に究極の美しさと出会い、そこから世界の神秘を知り、人間の生きている価値を知ろうとする壮大な捉え方が原点にある。啓林館の教科書の裏面には、「数学の視点で美を見つけよう」として、なぜ数学を学ぶのかを壮大な視点で捉えており、新

鮮である。今回、調査部会においてにおいて、そのような広い視点で意見が交わされたことはあったか。

【事務局】数学の根幹となる部分までの議論に十分な時間は割けていない。生徒の視点を大切にすることで、より実態に即した議論を重ねてきた。今後、数学科の研究会において、生徒に数学が役に立つことを実感させ、原点ともいえる美しさを感じるところまで目指して取り組んでいきたい。

○島本学校指導課長

理科についてである。

東京書籍は、観察・実験の結果を分析・解釈し、科学的なきまりや法則を発見する学習のプロセスにおいて、話し合い活動を積極的に取り入れ、レポートの書き方例も示すなど、科学的に表現する言語活動が充実していることが特徴である。コラム等の読み物資料も、質・量ともに豊富であるが、必須以外の観察・実験があまり多く設定されておらず、学習して得た知識を活用し、その定着を深める学習課題が少ない。

大日本図書は、観察・実験、実習において、生徒が主体的に取り組めるよう活動例が豊富で、探究的な活動を促す工夫が充実している。観察・実験の結果から考察し、科学的なきまりや法則を発見するプロセスも重視しており、科学的な思考力や表現力を育成するための学習活動も豊富である。また、生命尊重、自然環境の保全や環境を守る技術等のコラムが充実しており、生徒が今日的な課題や社会変化に関心を持つための工夫も豊富で充実している。

学校図書は、科学的なコラムが豊富なことが特徴で、単元の学習後にコラムを読むことで学んだことを深め、発展的な学習へ導く工夫がなされている。また、各単元末に、学習内容と関連した職業を紹介し、学習内容と職業や日常生活との関連から、科学を学ぶ大切さを実感することを図っている。ただし、本文記述が要約されすぎており、内容がやや不足している箇所がみられる。また、必須以外の観察・実験があまり多く設定されておらず、学習して得た知識を活用し、その定着を深める学習課題が少ない。

教育出版は、単元ごとに、「要点と重要語句の整理」「基礎・基本問題」を数多く掲載しており、基礎的・基本的な知識・技能の定着に向けた配慮が充実している。巻末の「自由研究」で、実験・観察の事例を豊富に掲載しているが、必須以外の観察・実験があまり多く設定されておらず、学習して得た知識を活用し、その定着を深める学習課題が少ない。また、一部で本文の文字が小さく、構成も見にくい箇所がある。

新興出版社啓林館は、全体を通して、本文はわかりやすく記述され、文章を捉えやすい。また、別冊を設けることで、演習問題の質・量が充実している。根拠をもって予想する場面、結果や事実をもとに考える場面、話し合い、協働学習する場面が豊富に設定され、思考の広がりや深まりを図る工夫が優れており、環境保全や防災・減災について経験から得た知恵を未来志向で考えることを重視する工夫も充実している。

以上を総合的に勘案した結果、観察・実験が豊富で、科学的に思考・表現する活動も充実し、環境等の今日的な課題等に関心を持つための工夫も充実していることなどから、「大日本図書」が教科書採択に関わる基本方針、選定の柱、選定の観点及び選定の視点に最も即した教科書であると考えている。

【星川委員】「理科」，「科学」，「サイエンス」など，出版社によって教科書の名前にも特徴があるが，科学的な物の見方など，その意図は感じられたか。

【事務局】教科書名まで踏み込んだ議論は十分できていないが，理科の授業感（暗記物といったイメージ）を変えたいとの思いを持っている。そのために重視した点として，観察・実験を通して得た結果から追観察・追実験へと繋げ，学びを深められること，また，生徒の理解を図るためのレポートを課していること，さらに，自由研究のように，自分で課題を見出して研究方法を考えるような題材数の豊富さにも注目して選定作業にあたった。

【秋道委員】文部科学省「スーパーサイエンススクール」があるが，物理，化学，生物等とは元々，分野が大きく異なる点も多い。ただし，科学的探究心をもって取り組む姿勢は大切であり，今後も研究してもらいたい。

○島本学校指導課長

音楽科一般についてである。

教育出版は，日本の歌曲と伝統音楽を重視しているのが特徴である。楽曲の情景を具体的にイメージしやすい写真を豊富に用いるとともに，和楽器を含めた伝統音楽については，表現活動と関連付けて学習できるよう工夫されている。「聞き比べてみよう」コーナー等において，言語活動への工夫がなされているが，生徒に気付かせたい内容が，同じページの中に書かれているため，思考力や判断力を促す構成となっていない。

教育芸術社は，全体を通して，学習目標がわかりやすく，題材構成の系統性・発展性に優れているとともに，言語活動を通して，思考力・表現力を高める活動を展開しやすいことが特徴である。和楽器を含めた伝統音楽については，箏や尺八の楽譜が古来の縦書き楽譜で掲載され，伝統音楽のよさを感じることに繋がっている。ただし，著作権をはじめとする権利関係について，わかりやすく説明されているが，保護期間が国で異なることの記載がなされていない。

以上を総合的に勘案した結果，題材構成の系統性・発展性に優れているとともに，思考力・表現力を高める活動が展開しやすいこと，また，和楽器を含めた伝統音楽のよさを感じる工夫が充実していることなどから，「教育芸術社」が教科書採択に関わる基本方針，選定の柱，選定の観点及び選定の視点に最も即した教科書であると考えている。

音楽科器楽についてである。

教育出版は，様々な楽器において，基礎的な技能を習得するための工夫がみられる。特に，ギターのコードネームでは，押さえる指について写真を用いて説明しており，わかりやすい。また，演奏の基礎であるリコーダーは，中学校から新たに学習するアルトリコーダーに加え，小学校で学習していたソプラノリコーダーでも演奏が可能なよう工夫され，楽曲ごとに必要な運指も図示している。全ページの4割以上が，和楽器に割かれていることも特徴的である。

教育芸術社は，一般の教科書と同様，全体を通して，学習目標がわかりやすく，題材構成の系統性・発展性に優れているとともに，言語活動を通して，思考力・表現力を高める活動が展開しやすい。中学校から新たに学習するアルトリコーダーは，小单元ごとに新しい運指が図示され，段階的・主体的に習得できるよう工夫されている。和楽器については，箏で古来の縦書きの楽譜を重視することで，日本の伝統を感じさせるとともに，礼節を重んじる心にも触れている。

以上を総合的に勘案した結果，題材構成の系統性・発展性に優れていること，また，多くの京都市

立中学校がアルトリコーダーを使用する実態を踏まえ、その習得を図るための工夫がより優れていることなどから、「教育芸術社」が教科書採択に関わる基本方針、選定の柱、選定の観点及び選定の視点に最も即した教科書であると考えている。

【秋道委員】器楽の教科書に掲載されている楽器は、中学校に全て配備されているのか。

【事務局】一般的に使用する楽器については、生徒の目に触れるよう必ず一定数が配備されている。

本市では、箏も各校1～2面は保存しており、授業で使用する場合には、行政区間で一定数を巡回させるなど、他都市にはない対応をしている。ただし、希有な楽器は保有していない場合が多い。

【秋道委員】すべての楽器が配備されていなくてもよい。現物がなくても、全く学べないこともなく、例えば、空き缶を楽器に見立ててリズム感を養うなどの工夫も可能であり、参考としてもraitたい。

○島本学校指導課長

美術科についてである。

開隆堂出版は、中学生の作品や制作活動の様子を豊富に取り上げ、同年代の多様な表現や作品への思いに触れることで、発想や構想の大きな刺激となり、思考力・判断力・表現力の育成を促していることが特徴である。ただし、風景画の学習では、題材を限定したことで作品の多くが一点透視図法を使った構図となっており、バランスがとれていない。また、巻末資料の色相環について、(財)日本色彩研究所の配色体系に準拠した配色カードに対応していない色が多く、不十分である。

光村図書出版は、全体を通して、基礎的・基本的な内容の定着、言語活動の充実、思考力・判断力・表現力の育成に向けた配慮が優れている。各題材に、4観点の目標と振り返り欄、「共通事項」の内容をもれなく示すことで、基礎的・基本的な知識や技能等の習得を図っている。その他、インデックスやマークを活用した高い視認性に加え、巻末資料の色相環に色名を記載することで、色覚特性へ配慮している点も優れた工夫である。

日本文教出版は、生徒の発達段階を踏まえ、小学校の既習事項との接続性や関連性を図り、各学年段階の経験や発達等に応じた学習内容が選択できるよう2・3年生を上下に分冊した編集としている。各題材のねらいやポイントがわかりやすく、また、色彩や技法等の巻末資料も豊富で、学習内容の確実な習得を図っているが、言語活動の展開に向けた工夫等について特筆すべきものはみられない。

以上を総合的に勘案した結果、基礎・基本の定着、言語活動の充実、思考力・判断力・表現力の育成に向けた工夫に優れ、高い視認性、色覚特性への配慮も充実していることなどから、「光村図書出版」が教科書採択に関わる基本方針、選定の柱、選定の観点及び選定の視点に最も即した教科書であると考えている。

【在田教育長】美術科における言語活動とはどのような形で展開されるのか。

【事務局】主に鑑賞活動を通して、作品に対する印象や技法等で話し合ったりする、また、制作活動においても、構成段階から、お互いの作品について、話し合う、伝え合うなど、頻繁に言語活動を行う。

【鈴木委員】技能を育てる観点と、美しさを感じる心を育てる観点のバランスが非常に大切である。

光村図書出版は、生活における様々な美しさに気付かせる工夫などが特徴的だが、選定の

観点と照らしてどのように分析しているか。

【事務局】生徒が美術を学ぶ意義について感じられるのか、教科の大きな課題である。そのため、生活の中で美術が生かされていることを実感させることは、大変効果的である。美術で学んだことを日常生活の中で感じ、学ぶという点で、光村図書は大変優れている。

【秋道委員】例えば、植物を写生する中で、その植物のことを調べることで、美術科と理科の関連が図れる。美術科にとどまらず、すべての教科で総合的に学んでいくという姿勢を生徒達には教えていただきたい。

○島本学校指導課長

保健体育科についてである。

東京書籍は、全体的にバランスよく構成されており、健康に関する事例や資料も豊富で、基礎的・基本的な知識・技能等の習得から言語活動、課題解決的な学習の展開までよく工夫されている。小学校や高等学校での学習内容との系統性・継続性の見通しを示すとともに、他教科、保健分野と体育分野との関連もマークを分けて細かく表示するなど、明確でわかりやすい。

大日本図書は、学習課題や目標とともに、重要語句や要点を明示し、基礎的・基本的な知識・技能等の習得を図るとともに、習得したことを生活に生かすよう工夫されている。一方で、章末の確認問題が設けられておらず、また、わかりやすい発問による言語活動の展開を図っているが、具体的な学習方法が紹介されていない。総体的に、知識の習得、習得した知識を活用する活動等を行う上で、不十分である。

大修館書店は、各単元で学習の動機付けとなる導入発問や自ら考え判断する課題設定などの工夫や、考える、話し合う、まとめる活動を順序立てて示すなど、言語活動の展開を図っている。一方で、学習課題が示されておらず、章末の確認問題がないなど、知識の定着を図る上で不十分である。また、今日的な課題や新しい健康課題をコラムで取り上げているが、発展的な内容が少なく、小学校や高等学校での学習内容との系統性・継続性についても示されていない。

学研教育みらいは、統一感のある紙面構成で見やすく、学習内容の把握から基礎的・基本的な知識・技能の習得、振り返り活動、習得した知識を活用した活動まで学習の流れがわかりやすく整理されている。災害発生後に中学生ができることを考えさせるなどの言語活動の場面設定や学習内容に関する資料等も充実しているが、他教科、保健分野と体育分野との関連が同じマークで示されており、若干わかりづらい。

以上を総合的に勘案した結果、全体的にバランスよく構成され、資料の豊富さ、学習活動の展開の工夫、系統性・継続性への配慮、他教科等との関連の明示などから、「東京書籍」が教科書採択に関わる基本方針、選定の柱、選定の観点及び選定の視点に最も即した教科書であると考えている。

【鈴木委員】東京書籍の巻末には、保護者に対するメッセージが記載されていることが印象的である。心身ともに発達途上の中学生であることを考慮して、保護者にも一緒に読んでもらえる配慮は素晴らしい。教科書を保護者とともに見ていくという点では、どのように捉えているか。

【事務局】選定委員会において、保護者代表の委員から、保護者も学ぶべき内容が多く掲載されていることから、家庭でも生徒とともに学ぶことを大切にしたいとの意見を頂戴している。各校の現場教員にも伝えていきたい。

○島本学校指導課長

技術・家庭科（技術分野）についてである。

東京書籍は、生徒目線での学習目標の設定や、生活で得た知識や体験と学習内容の関連付けを図るなど、意欲的・主体的に学習できるよう工夫している。全体を通して、技術と社会や環境との関わりについて理解を深める構成となっており、技術をプラスマイナスの両面から評価し、自分なりに技術のあり方を考えていくよう促している点も優れている。内容や情報量も充実し、写真の大きさやレイアウト等も含め、使いやすい。

教育図書は、「基礎技能・知識」マークにより、基本となる技術の習得を図るとともに、模型制作などの実践的・体験的な学習展開を示し、問題解決能力を高める工夫もみられる。一方で、製図に関しての作図手順が示されておらず、作図技能の習得という点で不十分である。また、学習前の実習等にかかる安全・衛生については記載されておらず、安全に対する心構えとしての自覚や予測を高めるための配慮がなされていない。情報セキュリティや情報モラル学習も、記載や資料内容が少なく、知的財産の保護等を含め、学習教材が不足している。

開隆堂出版は、基礎的・基本的な学習事項の定着を図るため、学習内容の把握や課題の明示等とともに、図版や写真等も見やすく、視覚的にも理解・習得が図れるよう工夫がなされている。本文の随所に技術と環境との関わりについて記述するとともに、3年間の技術の学びから、現在及び未来の技術のあり方について考えるページが設定されるなど、持続可能な社会の構築への意識を高める工夫が充実している。記述内容及び構成ともにバランスのとれた教科書であるが、一方で、中学生にとっては、やや情報量が多い傾向がある。

以上を総合的に勘案した結果、生徒が意欲的・主体的に学習できるよう工夫され、内容や情報量も充実し、写真の大きさやレイアウト等も含め、使いやすい教科書であることなどから、「東京書籍」が教科書採択に関わる基本方針、選定の柱、選定の観点及び選定の視点に最も即した教科書であると考えている。

技術・家庭科家庭分野についてである。

東京書籍は、全体的にバランスよく整理され、生徒にとって学習のイメージが持ちやすく、使いやすい教科書である。学習の流れを示し、見通しを持って学習が進められるとともに、確認・振り返り・生活に生かすなどの様々なまとめのパターンが工夫されている。また、基礎技能や用語解説のページで言語活動の充実を図り、実習では手順ごとに写真やイラストを用いて主体的に学べるよう構成されている。

教育図書は、「生活の課題と実践」について、選択方式で問題解決的な学習方法やテーマが紹介されており、学習活動が展開しやすい。また、消費者市民社会の実現に向けた内容が充実しており、自分たちにできることを考えさせるよう学習課題が工夫されている。ただし、各調理実習例が1ページにまとめられているため、ページあたりの情報量が多く、文字による理解が苦手な生徒にとっては視覚的に捉えにくい。また、食品写真に文字や斜線が重なり見にくい箇所がある。

開隆堂出版は、「持続可能な社会をつくる」内容が教科書を貫く視点として重視され、環境問題について話し合う活動を取り入れるなど、環境配慮が充実している。ただし、小学校と関連する内容について、マーク等を利用した表記がなされておらず、わかりづらい。また、爪見出しの写真はページ内容と直接関連がない箇所があるなど、配慮が十分でない部分もみられる。

以上を総合的に勘案した結果、全体的にバランスよく構成され、生徒にとって学習のイメージが持ち

やすく、使いやすいことなどから、「東京書籍」が教科書採択に関わる基本方針、選定の柱、選定の観点及び選定の視点に最も即した教科書であると考えている。

【秋道委員】技術・家庭科の家庭分野は女性向けの印象を持つ方も多いが、そうではなく、男女ともに学ぶべき内容が多い。そのような点ではどのように捉えているか。

【事務局】男女共修のため、性別を問わず学習に取り組んでいる。教科書では、生徒のイラストも男女ともに掲載され、職業紹介もバランスよく掲載されるなど、配慮されている。

○島本学校指導課長

外国語科についてである。

東京書籍は、全体を通して、豊富なイラスト、写真、図版を効果的に掲載し、学習要素を毎回定位置に示すなど構成が統一され、学習の流れが一目でわかるよう工夫されている。また、「Can-do リスト」に応じた目標が提示され、学習の見通しが明確である。得た情報を英文にまとめて発表する活動や、実際の使用場面を想定した言語活動が豊富に設定され、その場で考えながら話すよう工夫されるなど、場面設定と活動量の両面において、最も充実している。

開隆堂出版は、会話例を豊富に提示し、「聞く」「話す」活動から自分のことを話す活動へつなげ、必ず「書く」活動で終わるよう構成が統一されるなど、自己表現力を高める課題が数多く設定されていることが特徴である。ただし、多くの単元で、ペアやグループでの協働学習を取り入れているが、その場で考えながら話す活動が不足している。

学校図書は、テーマに基づいたスピーチ活動を各学年で設定し、言語活動の充実を図っている。また、自己表現力を高めるため、重要表現等を活用した豊富な「書く」活動が特徴である。一方で、活動の答えとなる英文が限定的で、生徒が自ら学習した内容を使って、より深く調べ、表現するための道筋や各単元からまとめまでの一連の流れが示されていない。

三省堂は、題材・活動のねらいが明示されるとともに、基本文が単純で文構造が理解しやすい。また、自己紹介、クラスでのプレゼンテーション、身近な話題による即興でのディスカッションなど、多彩な言語活動が特徴である。学び、言葉、日本文化、異文化、自然理解・防災、社会理解、人間理解の7分野を各学年でバランスよく配置し、多角的に考えられるよう工夫しているが、本文に中学生にとってやや高度な表現がみられる。

教育出版は、基本文は本文で使用された英文が用いられ、わかりやすい。場面に応じて英語特有の表現を覚える工夫や、調査したことをまとめ、さらに1文を加えて表現させる活動など、言語活動が充実している。また、全学年に付録冊子が付いており、言語活動や自学自習の材料として効果的であるとともに、和食や京料理などの場面設定が豊富である。ただし、学習したことを活用する場面で扱う語句や文法等の難易度がやや高い傾向にある。

光村図書出版は、単元ごとのまとめは、簡潔でわかりやすい基本文・解説文で表記されるとともに、単元の到達目標が「CAN-DO 形式」で明記され、付けたい力の見通しを持ち、生徒が自己評価できるよう工夫されている。コミュニケーション活動の場面設定が具体的で、「給食か弁当か」と立場を分けて意見交換する言語活動や、他教科の内容を英語で学習する発展的な題材など、4技能を総合的に活用した自己表現活動を設定している。

以上を総合的に勘案した結果、豊富な写真やイラスト等が掲載され、言語活動の場面設定と活動量ともに最も充実していることなどから、「東京書籍」が教科書採択に関わる基本方針、選定の柱、選

定の観点及び選定の視点に最も即した教科書であると考えている。

【在田教育長】中学校で教科として外国語を初めて学ぶ生徒にとって、難易度は重要な視点と考える
がいかがか。また、発展的な学習の部分においては、各社とも一定の配慮がなされている
か。

【事務局】特に、1・2年生では、小学校との接続も含め教材配列に配慮されている。発展的な学
習については、各社で取り上げてられているが、中でも場面設定や活動量の両面において
東京書籍が優れている。

○島本学校指導課長

最後に、今後の予定では、「開かれた教科書採択」として、本日も含め、これまでの教育委員会
での審議内容や、選定委員会の概要、答申等について、整理のうえ、近日中に教育委員会ホーム
ページで公開する予定である。

また、本日採択いただいた教科書に基づき、各教科で指導計画（京都市スタンダード）の改訂を進
めてまいる。改訂にあたっては、環境教育やキャリア教育、学校図書館の活用、他教科との関連等
について十分留意しつつ、すべての市立中学校での授業改善・向上につながるものを目指してま
いる。

（議決）

教育長が、議第9号に対して、採決を行い、各委員「異議なし」を確認。

平成28年度に京都市立高等学校において使用する教科書の採択について

（事務局説明）

○三宅学校指導課担当課長

議第10号「平成28年度に京都市立高等学校において使用する教科書の採択について」お手元
にお配りしている「説明資料」と「平成28年度使用京都市立高等学校採択教科書一覧表（案）」に基
づき、ご説明申し上げます。

まず「平成28年度使用京都市立高等学校採択教科書一覧表（案）」の目次と説明資料1ページの
「2 学習指導要領と教科書採択について」を併せてご覧いただきたい。本年度は、昨年度に引き続
き全ての教科において、新学習指導要領と従前の学習指導要領に基づいた教科書を選定することに
伴い、第1部と第2部に分けて構成している。

第1部では、新学習指導要領に基づき編集された教科書から選定されたものであり、平成28年度
に第1学年から第4学年となる、全学年の生徒の全ての教科を対象としている。また、第2部は、従
前の学習指導要領に基づいて編集された教科書から選定されたものであり、定時制高校で原級留置に
より平成28年度に第4学年となる生徒の教科書の一部を対象としている。

続きまして、「教科書採択に関わる基本方針」の議決をいただきました5月7日の教育委員会から
の経過と今後の予定につきましてご説明申し上げます。お手元「説明資料」1ページにある「1教科書
採択の経過及び今後の予定」をご覧いただきたい。教育委員会での「基本方針」の議決後、それ
に基づき教育長が「選定方針」を決定し、教科書選定委員会へ教科書選定について諮問した。その後、6

月2日と7月9日の2回の選定委員会、さらに、各教科の調査研究委員会において本市立高校の実情に即した最も適切な教科書について熱心かつ慎重な調査審議が行われた。また、参考資料としてつけさせていただいている、6月5日から7月8日まで、法定の教科書センターである京都市総合教育センターと京都アスニーで教科書展示会を実施した。こうした多くのプロセスを経て、選定教科書一覧表が教育長に答申された。

その答申に基づき、本日、平成28年度使用の教科書の採択について、議案を提出させていただいたところで。議決の後、採択された教科書の中から、各学校が来年度使用する教科書を決定する予定になっている。

なお、高等学校の教科書については、「説明資料」2ページの表にあるとおり、毎年採択を行っている。

次に説明資料1ページの「3 選定教科書について」である。今年度選定した教科書は、来年度発行される文部科学省検定済教科書733点及び文部科学省著作教科書56点、計789点の教科書の中から、関係する教科・科目に係る教科書613点のうち14教科255点を選定している。これらの選定教科書は、原則として教科書発行者の届け出に基づき、文部科学省が発行している「平成28年度使用高等学校用教科書目録」に掲載されている。

教科別の内訳は、お手元の「平成28年度使用京都市立高等学校採択教科書一覧表（案）」をご覧ください。

まず、1ページから21ページまでは、第1部として新学習指導要領に基づいて編集された教科書から選定したものを記載している。また、22ページは、第2部として従前の学習指導要領に基づいて編集された教科書から選定したものを記載している。

また、各科目における採択数については、説明資料の1ページの「3 選定教科書について」に記載している。

次に、各教科の選定の観点及び理由についてご説明申し上げる。説明資料の3ページから9ページまでである。

まず、普通教育に関する各教科だが、国語科の各科目については、生徒の学力向上を図ることができる教科書として、基礎的・基本的な学力の充実を図るもの、段階的に読解力を身に付け、思考力・判断力・表現力をバランスよく育成するものなど24点を選定した。

地理歴史科については、各校の教育目標や進路目標、及び多様な生徒の実態を踏まえた上で、各科目の関連やグローバルな視点を考慮し、生徒の興味・関心を喚起する豊富な資料を用いて理解を深め、考察する力をつけることができるものなど、22点を選定した。

公民科については、14点を選定した。とくに公民科は現代社会における様々な問題を扱う教科内容であるため、多角的な視点からテーマ学習の充実を図っているか、文献の読み方や調べ方を具体的に提示し、知識を活用した活動を主体的に行えるような工夫がなされているかという点から選定を行った。

数学科については、各校の実態や目標に応じて、計算力や論理的思考力、正確な計算力など多様な数学的能力を養うことができ、論理的に課題を解決する力を育成できる内容であるか、例・例題が精選されているか、等の観点から25点を選定した。

理科については、自然科学への興味関心が根付くよう、図解や写真等が豊富で分かりやすいか、実験・観察方法・解説が丁寧に記述されているか、といった観点から、36点を選定した。

保健体育科については、資料や配色が工夫され、生徒の学習意欲を高める内容となっているか、個

人および社会生活における健康、安全について理解を深め集団を意識した実践方法や、自発的な学習態度を育成できる内容となっているかという観点などから2点を選定した。

芸術科は音楽・美術・工芸・書道の4科目になるが、各校の現状に配慮し、芸術文化への興味関心を喚起し、表現力を育成できるよう工夫されているものを18点選定した。

外国語科については、英語の授業を英語で行うという方針のもと、ICTなども活用して生徒に分かりやすい授業を行える内容となっているもの、また、各校の教育課程や進路目標等に応じた、生徒の国際理解を深め、コミュニケーション能力の養成に効果的な題材を含むものなどの観点から教科書を37点選定した。

家庭科の「家庭基礎」「家庭総合」については、生活に必要な知識と技術を習得するとともに、生徒が意欲的に生涯を見通した自己の生活を考えることができるかといった観点で8点を選定した。

情報科においては、情報及び情報技術を活用するための知識が習得でき、情報に関する科学的な見方や考え方が分かりやすく説明されているか、セキュリティ教育やネットワーク上での情報収集、情報モラルや知的財産など、今日的事項について記述が丁寧であるかといった観点から6点を選定した。

次に専門教育に関する各教科について御説明する。

工業科では、工業に関する基礎的・基本的知識と技術を習得できるか、最新の技術がバランスよく紹介されているか、資格取得などにも対応できているかなどの観点から、現代社会における工業の意義や役割を理解でき、生徒の進路保障なども考慮して、計54点を選定した。

商業科においては、図表や例題が適切に配置されており、文例や文章問題などもバランスよく配置されているか、実社会と関連深い内容が多く取り入れられているかという観点から、入門から応用まで幅広く対応できるものを5点選定した。

家庭科においては、「発達と保育」「フードデザイン」が主な内容の柱とされており、わかりやすさや、事象が多角的に幅広く取り扱われ、生徒の興味関心をひきやすいものであるかという観点から3点を選定した。

情報科においては、生徒の基礎学力の定着が期待でき、生徒の興味・関心を喚起し、情報活用能力を高めることが期待できるかという観点から1点を選定した。

以上、14教科、255点の選定教科書の中から、京都市立高等学校の管理運営に関する規則に基づき、それぞれ実際に使用する教科書を各校校長が決定することになる。

「平成28年度に京都市立高等学校において使用する教科書の採択について」は以上である。

(委員からの主な意見)

【在田教育長】採択されていない教科書はどんなものか。

【事務局】資料に示している観点にそぐわないもの。また、市立高校9校それぞれの特色、学力等に応じたもので見やすさやわかりやすさにも配慮して、調査研究委員を中心に選定いただいている。

【鈴木委員】情報は必修科目か。

【事務局】必修科目である。

【奥野委員】昨年から変わった教科書はあるか。

【事務局】ほとんどない。

【秋道委員】数学の教科書で練習問題の解答は教科書にあるのか。

【事務局】例題の解答は、教科書に記載がある。練習問題については、教科書会社によるが、教科

書によっては、最後に解答だけ記載されているものがある。

【在田教育長】問題集は使っているか。

【事務局】教科書と併せて使用している学校が多い。

【在田教育長】原級留置の生徒への対応について、他の教科書は、従前の学習指導要領に基づいた教科書でなくていいのか。

【事務局】従前の学習指導要領から選択した教科書は、原級留置の生徒にしか行われない授業のため、従前のものから選択している。他の科目については、原級留置でない生徒と一緒に授業を受けるため、新学習指導要領のものを使うことになる。

(議決)

教育長が、議第10号に対して、採決を行い、各委員「異議なし」を確認。

議第11号 平成28年度に京都市立小・中学校育成学級及び総合支援学校において使用する教科書の採択について

(事務局説明)

○中原総合育成支援課長

平成28年度に小・中学校育成学級及び総合支援学校で使用する教科書については、5月7日の教科書採択に関わる基本方針の議決を受け、教科書選定委員会を設置し、第1回選定委員会を5月22日に開催した。選定委員会は、学識経験者、保護者代表、教員、教育委員会事務局から、委員・専門委員あわせて19人で構成し、3グループに分かれて調査研究を行った。6月23日に第2回選定委員会を開催し、採択教科書案について委員から意見をいただき、それを受けて、さらに調査研究を進め、7月7日の第3回選定委員会の最終審議を経て答申を受けた。

小・中学校育成学級及び総合支援学校において使用する教科書は、小・育成学級及び総合支援学校小学部においては、昨年度に採択された小学校で使用する検定教科書及び小・育成学級及び小学部用に選定する文部科学省著作教科書及び一般図書、中・育成学級及び総合支援学校中学部においては、先ほど採択された中学校で使用する検定教科書及び中・育成学級及び中学部用に選定する文部科学省著作教科書及び一般図書に加えて、小・育成学級及び小学部で使用する教科書である。

また、総合支援学校高等部については、高等学校で使用する検定教科書、高等部用に選定する検定教科書及び一般図書に加えて、小・育成学級及び小学部、中・育成学級及び中学部で使用する教科書としている。

冊数について、検定教科書については高等部用に3点、文部科学省著作教科書は今年度と同様に小学部用に10点、中学部用に3点の合計13点を選定している。

一般図書については、小・育成学級及び小学部用に319点、中・育成学級及び中学部用に237点、高等部用に298点の合計854点を選定している。昨年度採択した812点から、新たに選定したもの113点、供給不能等71点、差し引き42点の増となった。全てをあわせて870点の選定となっている。

6月5日から7月8日まで実施した教科書展示会において、育成学級及び総合支援学校への意見書の提出はなかったが、引き続き、カリキュラム開発支援センターに一般図書等の配架を行い、保護者

や市民の目に触れるようにしていきたい。

各種目の選定の観点と選定の理由であるが、小・育成学級及び小学部については、身近な生活経験をより深く認識できる教材であるか、遊びや体験を通して興味関心を広げ、日常生活の場面へとつなげていける教材であるか、などを視点に選定されている。中・育成学級及び総合支援学校中学部については、各教科に興味関心を持たせ、学習意欲を高めることを基本に、視覚的・聴覚的な理解のしやすさを意識して選定されている。高等部については、防災や情報モラルの高揚など喫緊の課題を扱う教材を盛り込み、個々の課題に対応できるよう選定されている。今年度は、保護者代表の委員から、基本的なマナーやコミュニケーションの取り方などをテーマとした図書を職業の教材として3冊提案いただいた。ここで具体的な使用例をお示しする。

総合支援学校の児童生徒用として、実生活に生かせる内容を意識している。職業学科の生徒のため、クリーニングの資格取得の図書なども入れている。現在、iPad等が障害のある子どもたちの教育に有効な手段として活用されているが、スマホやネットの危険性や安全な使い方を学ぶため、「気をつけよう！スマートフォン ①スマートフォンとインターネット」（高等部・社会）を選定した。「にげましよう 特別版 災害でいのちをなくさないために」（高等部・社会）では、様々な災害の場面で「逃げる」をキーワードにしてどのような行動をとればよいかを考える。高等部では、卒業後に役立つ生活の術を身に付けることのできるような内容を重視し、「家庭でできる洋服の洗い方とお手入れ」（高等部・家政）は、プロの視点で実生活において洋服を洗濯する際のポイントがわかりやすい写真とともに簡潔に示されている。

「いったでしょ」（小・国語）は、リズム感のある文章で、次を予想しながら読み進めることができ、読み聞かせの場面では読み手と聞き手が一体感を持てる。「子どもの生活きほん絵辞典」（小・生活）は、毎日の生活の中での経験することをわかりやすいイラストと、簡潔な文章で表現されている。掲載の順に学ぶのではなく、その時々に合わせて必要なページを見る、という使い方もできる。「ぬったり かいたり らくがきBOOK」（小・図画工作）は、目と手の協応という自立活動的な内容も含んで、楽しく色を塗ったり、描いたりしていくことができる。単なるぬりえではなく、ストーリーを考えながら進められる内容で、指導者や友だちとの会話も楽しむことができる。

「みじかなふしぎ ねえ、どうしてカにさされるとかゆいの？」（中学・保健体育）は、身近なことで子どもたちが疑問に思うことを題材に、その疑問解決だけでなく、指導者と子どもたちがそのテーマについてコミュニケーションを取ることができる。「こころのふしぎ なぜ？ どうして？」（中・保健体育）では、心の有様は子どもたちもなかなか分からないものだがこれを題材にして一緒に考えていくことができる。

多様な障害の状態の子どもたちに合った図書を選べるよう、また選択肢が多すぎると各校で使用する図書の選定が煩雑となるため、昨年度以前の選定冊数から微増となっている。

（委員からの主な意見）

【鈴木委員】最近、学習障害など障害のバリエーションが多く、新たなニーズが出てきていることと思う。選定の際、特に配慮すべき点など、議論になった点があれば教えてほしい。

【事務局】視覚に障害のある子にとってわかりやすいものは、どの子にとってもわかりやすいものである、といったようなユニバーサルデザインの観点から選定の作業を行った。また、子どもの障害の状態に合わせて、実際にどのような指導ができるかを考えながら選んでいる。保護者代表から推薦のあった図書は、自身のお子さんが卒業して就職をしたとき、何が必要だった

たか、何を学んでおいたらよかったか、という観点から選ばれている。

【秋道委員】学校での一般図書を選び方はどうなっているのか。低学年用・高学年用に分けるなどしているのか。

【事務局】発達をめやす（Ａ・Ｂ・Ｃ）に分けて、それぞれの発達の状態に応じた図書を選べるよう解説資料に掲載している。

【在田教育長】実際に図書を見る場所はあるか。学校が選ぶ際に、事前に見ることはできるか。

【事務局】教科書センターに置いているので見てもらうことはできる。京都市立総合支援学校ＰＴＡ連絡協議会主催の福祉機器展でも紹介している。

【秋道委員】視覚に障害のある子に対応した図書は選定しているか。色覚障害の子にはどうか。

【事務局】点字付きの図書や、ユニバーサルデザインの図書を選定している。色覚障害の子ども用と位置付けて選定した図書はあるわけではないが、障害の状態に合った指導方法を考えることで対応していく。

（議決）

教育長が、議第１１号に対して、採決を行い、各委員「異議なし」を確認。

（４）その他

○教育長から、前会会議以降の主な出来事等について報告

・ 7 月 28 日 全国高等学校総合体育大会について

・ 7 月 28 日 文科省調査

公立小中学校における教職員の在校時間等に関する調査について

・ 7 月 28 日 文科省調査

総合教育会議の開催について

○事務局から当面の日程について説明

（５）閉会

12時00分、教育長が閉会を宣告。

署 名 教育長